



2019年2月19日

各 位

会 社 名 京浜急行電鉄株式会社  
代表者名 取締役社長 原田 一之  
(コード番号 9006 東証第1部)  
問合せ先 広報部報道課  
(TEL: 03-3280-9122)

### 加算運賃の引下げ実施に関するお知らせ

当社は、2019年10月1日に加算運賃を引き下げますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 経緯

当社では、空港線の延伸工事や、空港線の輸送力増強工事に要した設備投資額等を回収するため、同線の天空橋～羽田空港国内線ターミナル駅間と他の区間をまたがって乗車する場合に、基本運賃に加え、加算運賃を設定しております。当該区間利用者が堅調に増加し、加算運賃収入等による設備投資額等の回収が順調に進捗してきたことから、加算運賃を引き下げます。

#### 2. 実施内容

##### (1) 加算運賃の引下げ

普通・通勤定期・通学定期の加算運賃について、それぞれ現行の運賃から一定額の引下げを実施いたします。

##### 【加算運賃改定額・大人運賃】

種 別	現行運賃	改定運賃	改定額
普通旅客運賃	170 円	50 円	△120 円
定期旅客運賃（通勤1か月）	6,220 円	1,830 円	△4,390 円
定期旅客運賃（通学1か月）	2,030 円	600 円	△1,430 円

##### (2) 特定運賃の一部廃止

乗車する区間のキロ程によって計算される運賃から、以下の区間において、20～30円の割引を適用しておりましたが、加算運賃の引下げとあわせて廃止いたします。

(今回対象区間)

羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅と穴守稻荷駅、大鳥居駅、糀谷駅および京急蒲田駅各駅の相互間

**【運賃比較】**

上段：基本運賃

下段：加算運賃を含めた運賃

(内) 10円単位運賃

区間 (一例)	現行運賃	改定運賃	改定額
羽田空港国際線ターミナル駅～大鳥居駅	113円(120円)	133円(140円)	+20円
	283円(290円)	183円(190円)	△100円
羽田空港国内線ターミナル駅～京急蒲田駅	165円(170円)	195円(200円)	+30円
	335円(340円)	245円(250円)	△90円

**3. 実施時期**

2019年10月1日

**4. その他**

2019年10月1日に予定されている消費税率10%への引上げに伴う鉄道運賃改定に関しては、今後変更認可申請を行う予定です。

以 上

**【添付資料】**

(ご参考1) 現行・改定運賃比較

(ご参考2) 加算運賃の引下げに関するQ&amp;A

【添付資料】

(ご参考1) 現行・改定運賃比較

1. 加算運賃の引下げ (加算運賃適用区間の変更はありません)

天空橋～羽田空港国内線ターミナル駅間と他の区間をまたがって乗車する場合、下記の金額を加算した額となります。

(1) 普通旅客運賃 (大人)

現行運賃	改定運賃	改定額
170円	50円	△120円

(2) 通勤定期運賃 (大人)

	現行運賃	改定運賃	改定額
1か月	6,220円	1,830円	△4,390円
3か月	17,730円	5,220円	△12,510円
6か月	33,590円	9,890円	△23,700円

(3) 通学定期運賃 (大人)

	現行運賃	改定運賃	改定額
1か月	2,030円	600円	△1,430円
3か月	5,790円	1,710円	△4,080円
6か月	10,970円	3,240円	△7,730円

## 2. 特定運賃の廃止

現在、羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅と穴守稲荷駅、大鳥居駅、糀谷駅および京急蒲田駅各駅の相互間で適用している特定運賃を廃止いたします。

上段：基本運賃

下段：加算運賃を含めた運賃

(単位：円)

区 間	営業 キロ	1円単位運賃 (ICカード)			10円単位運賃 (きっぷ)		
		現行 運賃	改定 運賃	改定額	現行 運賃	改定 運賃	改定額
羽田空港国際線ターミナル ～ 京急蒲田	4.5	124	154	+30	130	160	+30
		294	204	△90	300	210	△90
～ 糀 谷	3.6	124	154	+30	130	160	+30
		294	204	△90	300	210	△90
～ 大 鳥 居	2.6	113	133	+20	120	140	+20
		283	183	△100	290	190	△100
～ 穴守稲荷	1.9	113	133	+20	120	140	+20
		283	183	△100	290	190	△100
羽田空港国内線ターミナル ～ 京急蒲田	6.5	165	195	+30	170	200	+30
		335	245	△90	340	250	△90
～ 糀 谷	5.6	134	154	+20	140	160	+20
		304	204	△100	310	210	△100
～ 大 鳥 居	4.6	134	154	+20	140	160	+20
		304	204	△100	310	210	△100
～ 穴守稲荷	3.9	134	154	+20	140	160	+20
		304	204	△100	310	210	△100

なお、消費税率引上げが実施された場合には記載の金額から変更となります。

3. 主要区間の運賃（普通旅客運賃）

(1) 普通運賃（大人）

（単位：円）

区 間	1円単位運賃 (ICカード)			10円単位運賃 (きっぷ)		
	現行 運賃	改定 運賃	改定額	現行 運賃	改定 運賃	改定額
羽田空港国際線ターミナル ～ 泉岳寺	407	287	△120	410	290	△120
～ 品川	407	287	△120	410	290	△120
～ 京急蒲田	294	204	△90	300	210	△90
～ 京急川崎	365	245	△120	370	250	△120
～ 横浜	448	328	△120	450	330	△120
～ 上大岡	530	410	△120	530	410	△120
～ 金沢文庫	653	533	△120	660	540	△120
～ 横須賀中央	808	688	△120	810	690	△120
羽田空港国内線ターミナル ～ 泉岳寺	448	328	△120	450	330	△120
～ 品川	407	287	△120	410	290	△120
～ 京急蒲田	335	245	△90	340	250	△90
～ 京急川崎	407	287	△120	410	290	△120
～ 横浜	478	358	△120	480	360	△120
～ 上大岡	530	410	△120	530	410	△120
～ 金沢文庫	653	533	△120	660	540	△120
～ 横須賀中央	808	688	△120	810	690	△120

なお、消費税率引上げが実施された場合には記載の金額から変更となります。

## (2) 定期旅客運賃 (大人1か月)

(単位：円)

区 間	通勤定期運賃			通学定期運賃		
	現行 運賃	改定 運賃	改定額	現行 運賃	改定 運賃	改定額
羽田空港国際線ターミナル ～ 泉岳寺	15,160	10,770	△4,390	5,290	3,860	△1,430
～ 品川	14,870	10,480	△4,390	5,170	3,740	△1,430
～ 京急蒲田	12,060	7,670	△4,390	3,970	2,540	△1,430
～ 京急川崎	13,540	9,150	△4,390	4,600	3,170	△1,430
～ 横浜	16,630	12,240	△4,390	5,790	4,360	△1,430
～ 上大岡	19,270	14,880	△4,390	6,410	4,980	△1,430
～ 金沢文庫	21,620	17,230	△4,390	6,820	5,390	△1,430
～ 横須賀中央	24,770	20,380	△4,390	7,300	5,870	△1,430
羽田空港国内線ターミナル ～ 泉岳寺	15,740	11,350	△4,390	5,520	4,090	△1,430
～ 品川	15,460	11,070	△4,390	5,400	3,970	△1,430
～ 京急蒲田	12,810	8,420	△4,390	4,290	2,860	△1,430
～ 京急川崎	14,270	9,880	△4,390	4,900	3,470	△1,430
～ 横浜	17,220	12,830	△4,390	5,970	4,540	△1,430
～ 上大岡	19,860	15,470	△4,390	6,510	5,080	△1,430
～ 金沢文庫	22,200	17,810	△4,390	6,930	5,500	△1,430
～ 横須賀中央	25,330	20,940	△4,390	7,380	5,950	△1,430

なお、消費税率引上げが実施された場合には記載の金額から変更となります。

## 【添付資料】

(ご参考2) 加算運賃の引下げに関するQ&A

### Q 1. 2019年10月1日を加算運賃引下げの実施日とした理由について

A 1. 加算運賃については、羽田空港直下へのトンネル建設をはじめとする空港線の延伸工事や、輸送力増強工事に要した設備投資額等を回収するために設定しております。この投資額等の回収が順調に進捗していることに加え、羽田空港航空利用者は年々増加しており、今後もインバウンド需要やラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピック等による利用者増も見込まれます。地域に密着する公共交通機関として、羽田空港アクセスにおける利便性を向上させるとともに、羽田空港航空利用者のみならず空港周辺地域そして当社沿線の活性化を図りたいと考えております。

### Q 2. 将来的な加算運賃再引下げの実施可能性について

A 2. 今回の加算運賃引下げの影響に鑑みるとともに、羽田空港航空旅客数の動向なども考慮しながら、今後検討してまいります。

### Q 3. 売上・利益への影響額について

A 3. 通期影響がある2020年度においては、現在の見積りのなかで考える影響額は約25億円程度と当社では想定しております。加算運賃の減収(約40億円程度)がある一方、航空旅客数の増加や当社線利用者の増加に伴う増収(約15億円程度)もあると見込んでおります。また、2019年度においては、影響期間が半期であるため、影響は半分程度と想定しておりますが、さまざまな施策を通して影響を最小化してまいります。

### Q 4. 減収への対策について

A 4. 羽田空港第1・第2ゾーンの再開発などによる羽田空港周辺の就業者や来訪者などの交流人口の増加が期待されることに加え、川崎市殿町との連絡道路完成や、リニア中央新幹線の始発駅となる品川や泉岳寺との結節機能強化により、将来的に想定よりも利用者が拡大することも期待されます。当社は、これらのビジネスチャンスを最大限活かすため、長期的には空港線への引上げ線設置や、品川駅の機能拡張、短期的には座席指定列車の利用促進や、企画きっぷの発売強化などに取り組むことで、旅客の獲得に努めてまいります。加算運賃の引下げにより、公共交通機関のひとつとしての当社空港線の価値が向上し、利用がいつそう喚起されると考えておりますので、羽田空港周辺地域においてホテルやマンション等の開発を推進することで、沿線交流人口の増加と当社線への取込みを図り、影響を最小化してまいります。

### Q 5. 京急グループ総合経営計画への影響について

A 5. 経営計画策定時において、加算運賃による設備投資額等の回収が進捗していくことを想定して将来的な加算運賃の引下げを見込んで計画を策定しており、公表している2020年度目標値に与える影響はほぼないものと想定しております。

以 上